



↑このスペースです



指導方法

道徳における、ロールプレイを見たり演じたりするときには、教室の黒板前に設定されたステージに集まり、集中して学習を進めます。課題をつかんだら、自分の席に戻り個々の課題に取り組みます。

◇指導のねらい

一斉学習の場では、学習内容をつかみづらい子を支援するため、教室を全体での学習の場と個別（自主）学習の場に分けることにより、学習の内容をつかみやすくする。

◇指導の評価

1対1対応かそれに近い状態でないと学習に取り組むことが出来ない児童のいるクラスで有効です。

子どもたちは、変化で、学習内容の理解を持つと推定され（例音楽室に行けば音楽をすると思うように。）同じ教室内であっても、場面を分け、場面ごとに違う学習方法を定着することで、何を学習するのか、どんなことなのかの理解が進みます。

とくに、道徳におけるロールプレイなど、騒々しいだけで終わってしまいがちな授業に、メリハリを持たせ、たとえ支援の必要な子であっても、ロールプレイによる道徳上の気づきにつなげる学習が出来ます。

障害のある子の療育理論

TEACCHプログラム参照